

まらまら

今、ひとりひとりが...



生命が誕生するとき、神様は男と女という性を我々に与えました。そのとき神様は、男女平等を願ったはずなので、男(man)と女(woman)を天秤に掛け平等にしました。

上野高校美術部部員

主な内容

特集 子育て世代の男性100人に聞きました
いきいき未来いが 2007

伊賀市
男女共同参画情報紙

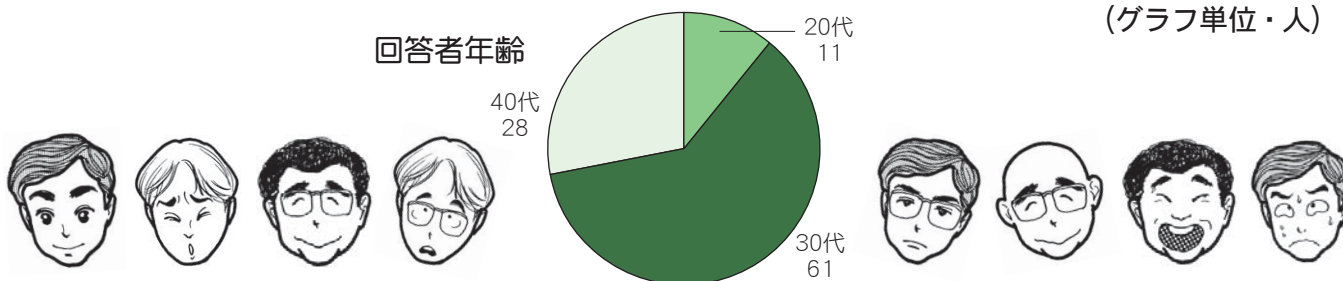
第13号

2007年

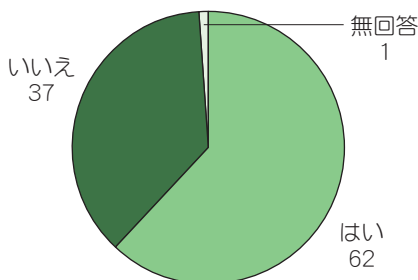
団塊世代男性へのアンケートに続く
第二弾!!

特集・子育て世代の男性100人に聞きました。

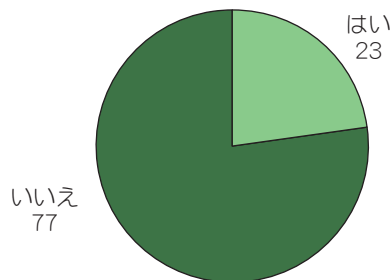
子育て世代は、社会をささえる働き世代。20~40代の男性が子育てに対してどんな考えを持っているか？実際のライフスタイルはどうか？子育て真っ只中のお父さん100人に「きらきら視点」で伺いました。



問1. 男女共同参画社会とは、性別に関係なく男女が共に考え、共に参加して作りあげていく社会のことで、それぞれが自分らしくいきいきと個性を發揮できる社会をいいます。ご存知でしたか？



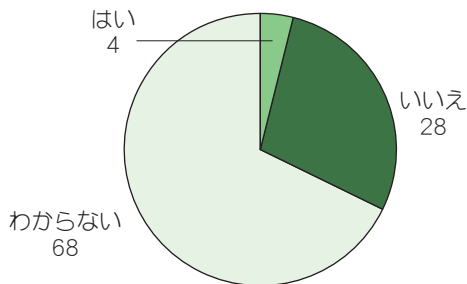
問2. 男女共同参画情報紙「きらきら」を読んだことはありますか？



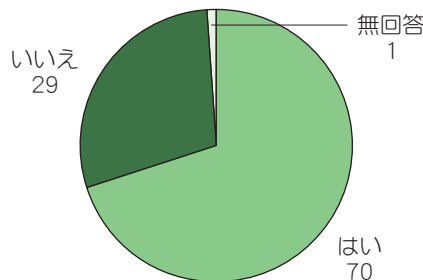
読んだ方の感想

- ・地域の身近な情報を知ることができるのでありがたい
- ・どのような活動を行っているかわかる

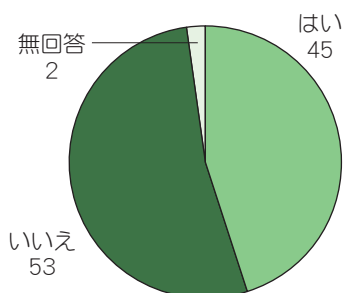
問3. 伊賀市は男女共同参画がすすんでいると思いますか？



問4. 夫婦共働きですか？



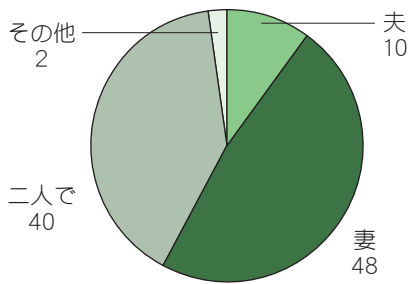
問5. 男性にも育児休暇の制度があります。利用したいと思いますが、思いましたか？



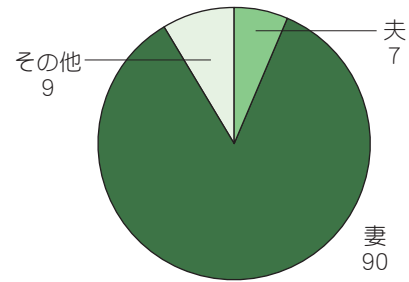
「いいえ」と答えた理由

- ・制度はあるが、それをサポートする社会的なシステム、意識が成熟していない
- ・利用したい気持ちはあるが、職場を育児休暇で離れることで、仕事における責任が他に変わります。仕事の質・量や対外的にもリスクが生じます
- ・現実的に無理、1~2日の有給で対応が精一杯
- ・給与保障があれば利用したいが、現制度では生活していけないため

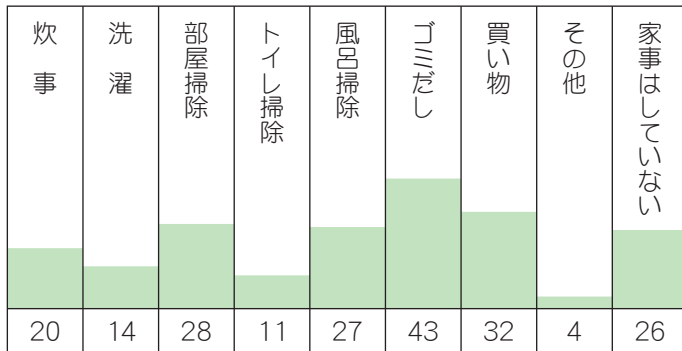
問6. 家計は誰が、にぎっていますか？



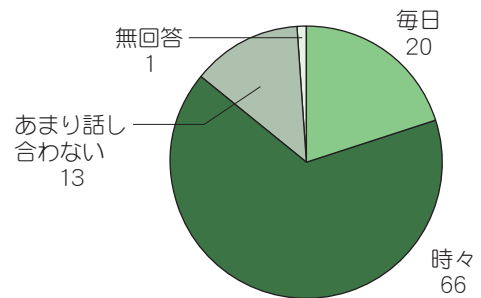
問7. 家事は主にだれがしていますか？ (複数回答)



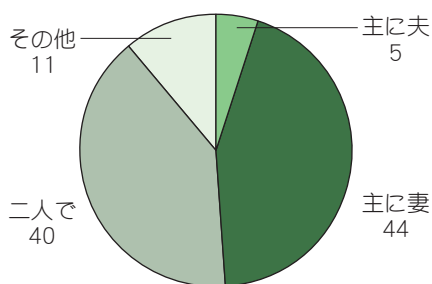
問8. あなたは家事を何か担当していますか？ (複数回答)



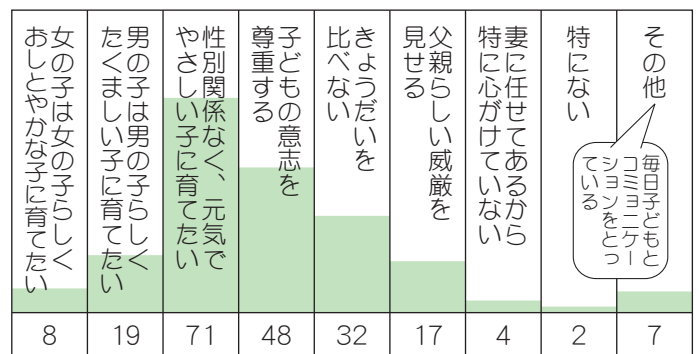
問9. 子育てについて夫婦で話し合いをしていますか？



問10. 保育園・学校の参観やPTA活動は誰が出席しますか？



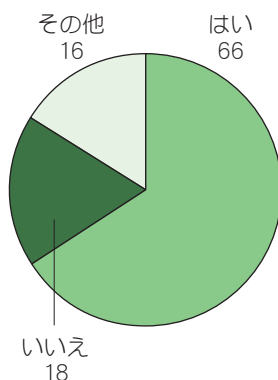
問11. 子育てで、あなたが父親として心がけていることは？ (複数回答)



問12. あなたは、これから男女共同参画を意識して子育てしていくことが大切だと思いますか？

いいえの人

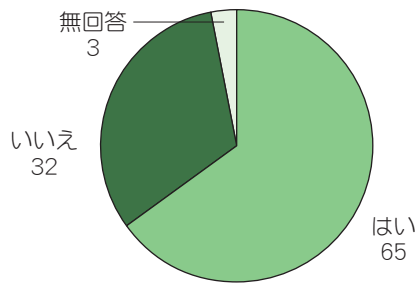
- ・実際に民間の競争社会の中でキレイごとだけでは通用しない。
- ・意識して行動するのではなく自然体で参画することが永く継続するものと考えます。
- ・男女共同参画を意識しなくても子育ては可能。
- ・男女共同参画が何を目標しているのか判らない。男・女がそれぞれの役割をはたせばよい。その役割が判ってないやつが増えてきているし、こんなアンケート取るやつが判ってないんじゃないのか？



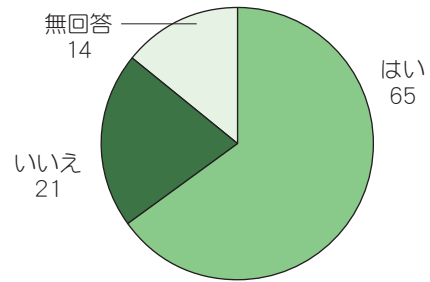
はいの人

- ・共働きという事もあり夫婦が共に意識しあって子育てしていくことが子どもの成長、家族の幸せの為だと考えるからです。
- ・男だからどう女だからどうという時代ではない。男女ともにいろいろな場面で尊重していく必要があると思う。
- ・今は母親だけが子育てや家事をする時代ではないと思う。
- ・子育ては夫婦二人で共通の認識方向性でやっていくことが子どもの成長にとってはプラスになる。夫婦がバラバラの意見で違ったベクトルで進んでいるのは、子どもに良い影響を及ぼすことはないと思うので。
- ・子どもは親の背中をみて育つため

問13. 妻には自由時間があると思いますか？



問14. 夫婦お互いの気持ちをわかりあえていると思いますか？

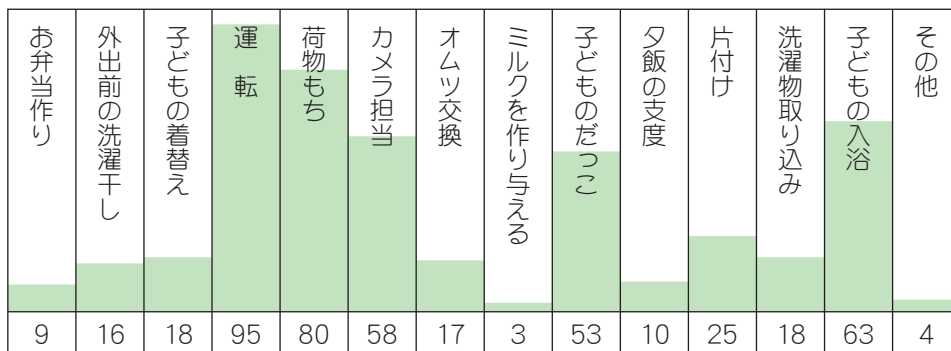


この際、妻に一言・・・

- ♥ 睡眠時間をけずって家事、子育てに頑張っている姿には感謝しています。少しでも早く寝られるよう、これから協力していこうと思っておりますが…。
- ♥ 妻は仕事が忙しく、土日も出て行かなければならない。間をぬってたまに作ってくれるごはん、あんまりうまいとはいえないけれど、気持ちだけでありがとう、って思っています。

- ♥ お互いが相手を思いやらないと一方通行ではキャッチボールは続かないと最近つくづく思う。
- ♥ 昔とくらべてこちらの話を聞いてくれないような気がするが、逆にこちらも向こうの話を聞いてない気もする。
- ♥ もっといろいろ対話をする時間をつくりましょう。
- ♥ 私は妻に遠慮して午後10時以降は外出しないようにしていますが、妻は平気で午前様になります。

問15. 春です、家族でピクニックに行くことにしました。あなたは何を担当しますか？（複数回答）



みなさんのご意見から

- それぞれが楽しく暮らしていこうと思えば自然と仕事も分担するようにならないかな？
こういう運動を起こさなくても自然な形でそれぞれが互いを助け合いできるような社会になればいいなと思う。
- 男女共同参画は、男女ともに差がある中で互いの言い分もあり理解しがたい点があると思われ、男女ではなく、個人の人間同士として考えた方が上手くいくような気がいたします。
- 育休をとりやすい雰囲気作りが大切ですね。
- 家族ごとのライフスタイルがあるので画一的に見ることはできないが、当事者間の対話、社会の理解（特に年配の方）が大切だと思います。
- まだまだ男女の区別の仕事（広い意味で）があり「共に」の部分がやりにくい部分も残っているように思います。少しでも自分のところだけで「共に」の部分を増やしていくよう努力したいです。……と今は思っています。

アンケートを終えて

100人の男性の皆さま、ご協力ありがとうございました。「男女共同参画社会」の認識、また設問の捉え方も各自違う中、貴重なご意見を頂きました。皆さまは夫婦お互いを尊重しつつ協力し、子育てを真剣に取り組まれていると感じました。けれど、子育て世代は働き世代でもあります。夫婦で共に子育てをしたいが出来ない、という理想と現実のギャップもアンケートから感じました。

“子どもは、性別に関係なく元気でやさしい子に育てたい” また、“子どもの意思を尊重して育てたい” というご意見が多く、子どもは個性・能力を発揮しいきいき育てほしいという熱い思いで子育てをされているようです。

しかし、子育ては1日24時間休みがありません。特に幼い乳幼児期の子をかかえる父親・母親には、お互いの協力がなければ、どちらかに負担

が大きくなります。そこで男性の育児休暇(業)や、短時間勤務を利用しやすい環境があれば少しでも変わると思うのですが、職場におけるシステム、社会的な意識などでまだまだ実現不可能というのが現状です。

“1~2日の有給で精一杯”と、ありましたが、まずは1~2日から1週間…と育休が取れ、仕事と生活を両立できる社会、そして誰もが子どもを産み、育てやすい社会になるよう、一人ひとりが声を出し、制度や意識を変えていきたいですね。



(上野高校美術部部員)

育児休暇体験記

男性の育児休業のすすめ

伊賀市職員 二階堂 樹

私には二人の子どもがいます。今からおよそ6年前、次男が生後5ヶ月から1歳になるまでの約7ヶ月間、育児休業をとりました。もともと子どもの発達に関心があり、自分自身も育休生活で成長したいと思ったこと、妻に「二人目の時にはぜひ育休をとってほしい」とすすめられたのがきっかけです。

育休したときに仕事をしていた横浜市役所では、すでに何人も育休をとった男性職員がいたため職場での理解もあり、代替りの職員もきちんと配置されるなどの支援策もあり、あまり抵抗なく育休をとることができました。

育休生活の約7ヶ月間、何をするのも子どものペース最優先、家事もだいたい自分が行う(もちろん妻は一日外で働いているので)生活をしてみて、それまでいかに自分のペース優先の生活をしてきたのか、ということを実感しました。子ども連れで出歩くことで、公共の建物や施設、世の中の仕組みなどもまだまだ不便なところが多いことに気づくことができました。

もちろん人それぞれ向き不向きがあり、父親となった男性の誰もが育児休業を取るべきだとは思いません。でも、少しでも「育児休業してみようかな」、と考えた方は、ぜひ育児休業されることをおすすめします。あなた自身も、世の中の見え方も変わりますよ。

『もったいない』で 心豊かな生活へ

「もったいない」という言葉は食べる事だけではなく、生活のあり方そのものにつながるものと思いませんか？
使い捨ての時代は終り、これからは地球環境のことも考え、ひと手間かけた丁寧な暮らしにしていきたい
ものです。“ケチ”ではなく、心豊かな生活が良いと思いませんか？

着られるものは着つくして『入れる容量は一定!!』とあらかじめ決めた場所からはみ出さないようにすれば「部屋がせまい!!」と言って何かのせいにしてしまわなくてすむのでは・・・。

おいしくいただいたお茶の葉っぱは、軽くしぼって、綿ぼこりの目立つ部屋や玄関にまいて葉っぱごとほうきで掃除をしましょう。新聞紙は適当に切って、三角コーナーに置き生ごみと共に捨てます。殺菌効果でヌルヌルもなく、これもまた、いい感じ。

食に関しては弥生三月に入って外を見わたせば、タンポポ・土筆(つくし)・ふきのとう・なたね……どこに行っても手に入る食材で一年に一度しか食べられないお料理を。これぞエコクッキング、ほろ苦さ、春の香り、体の中まで春になるような気がしませんか？

作ってみよう! 焼そばパンと たまごサラダパン

食育指導士 山本隆子さん

今のようにファーストフードがお手軽になかった頃…。焼きそばパンは、学生時代の思い出の一つである方は多いのではないのでしょうか？ その中身や味は一人ひとりちがうでしょう。

思い出の味に挑戦してお子さんといっしょに作ってみてはいかがでしょうか。



材料

コッペパン	4本
キャベツ	1枚
ベーコン	1枚
ゆで中華麺	1玉
ソース	大さじ3~4
カレー粉	小さじ1/2
ゆで卵	1個
レタス	1枚
きゅうり	薄切り8枚
塩こしょう	少々
ケチャップ/マヨネーズ/マスタード	
青海苔/紅生姜/パセリ	適量

作り方

- ① コッペパンは真ん中に切り込みを入れる。
 - ② キャベツはせん切りにする。(芯も甘いので細かく切って使う)
 - ③ ベーコンは細く切る。(ベーコンの保存に、ラップで一枚ずつ冷凍しておくとう便利。細く切るときは凍っていると切りやすく、また手で簡単に折ることができるので朝食のとき、まな板や包丁を汚さなくていいので便利です。)
 - ④ ②のキャベツをフライパンで炒めしんなりしたらカレー粉をまぶし皿に出す。同じフライパンに中華麺とベーコン、水(大さじ2杯)を入れて炒めソースをかけてさましておく。
 - ⑤ ボールにゆで卵のみじん切りと塩・コショウ・マヨネーズを合わせる。レタスは洗って水気を取っておく
 - ⑥ 2個のパンにキャベツ、焼きそばを入れ、ケチャップ・マヨネーズをかけ青海苔と紅生姜をのせる。
 - ⑦ 残りのパンにきゅうりとレタス・卵の順に入れ同じようにケチャップ・マヨネーズをかけパセリを飾る。
- * パンにマヨネーズ(お好みでマスタード)を切れ込みにぬってもよい。

ちいさなバターロールを使ったり、中身にコロックやポテトサラダなど、いろんなものをはさんでみてはいかがでしょうか。

全国各地にて、開かれる男女共同参画フォーラムに参加した
伊賀市男女共同参画ネットワーク会員さんによるレポートを紹介します。

日本女性会議 2006 しものせき

平成18年10月6・7日

食事サービスグループ ゆ・う・あ・い 山本 総子 さん

記念講演は、女優の市原悦子さんの「私が信じた道。私が歩む道。」でした。

自らの生き立ちや女優活動を通しての体験談を話され、その生き方や考え方に深い感動を覚えました。また、講演の途中には、質疑応答がおこなわれ、市原さんの朗読が披露されるなど、素晴らしい講演会でした。

分科会は、「21世紀の女性と男性 ～わたしが開ける ベアテからのギフト～」に参加しました。

憲法24条は「家庭生活における個人の尊厳と平等」を定め、戦前の家父長制の中で無権利状態におかれた女性の地位を改め、男性と等しく人権を享受できる社会を形成するための原則だといわれています。この理念は、労働・家族・教育・地域・政治にと女性の地位と権利向上をめざしつつも、完全には活かされていません。

また、「おたかさん」の愛称で知られた土井たか子さんの講演を聴きました。微力ながらも、男女共同参画社会づくりに協力させて頂く幸せを感じています。



日本まんなか共和国 男女共同参画フォーラム ～2006福井～

平成18年10月28日

個人会員 塚本 五十鈴 さん



「日本まんなか共和国」とは、日本国土の中央部に位置する 福井・岐阜・三重・滋賀の4県で構成されています。

2001年から「日本まんなか共和国女性サミット」として開催され、この4県の女性が連携をはかり男女共同参画社会の実現に取り組むことを目的としています。

記念講演は、東北福祉大学教授の岩淵 勝義さんによる「女性が拓く日本の未来」～機会費用とガラスの天井が鍵～という話でした。

男性の育児休業について語られ、有望なエリート職員に育児休業を取得させ、育児休業後特別昇給することや、30代の人たちの賃金を上げるなど、ユニークな提案をされ、育児を体験することの大切さや、家庭での協力ができない人は地域や社会活動においてボランティアもできないとの話に共鳴いたしました。

分科会では、「地域における女性の参画」～現場からのレポート 2006～と題し、各県の団体が活動を紹介し、福井県は少子化の時代に日本一の出生率を誇る県になっていることに関心をもちました。三重県も「津アイリス」が紹介されました。

このフォーラムにはじめて参加して、学ぶことも多く、元気を授かりました。

もっともっと伊賀市の男女共同参画に関心を持ち、女性のパワーを発揮したいものです。

みなさんも、伊賀を飛び出してフォーラムに参加してみませんか？
各地での取り組みを知ることや、名産にふれることで伊賀のよさを再発見できるかも…。

2月10日(土)

伊賀市男女共同参画フォーラム

フレックスホテルにて

「いきいき未来いが 2007」

講演「妻が僕を変えた日」より 広岡 守穂 さん

21世紀はおじいちゃんの出番

娘に子どもが生まれ、おじいちゃんになった。娘の様子をみていて本当に大変だと感じ、娘が一人になれる時間をつくろうと配慮した。
おじいちゃんが子育ての実情を理解していくことが地域の子育て支援の第一歩ではないだろうか。

妻が自分育てをしたいと思った時

育児に追われる妻が「社会の風に当たりたい、このままでは干からびてしまう」とつぶやいた。私は自分の生き方に誇りをもって生きてきたが、妻に大きな重荷を押し付けてきたことに気づけなかった。

妻が自分育てをしたいと思った時、バックアップする夫になりたい。

男女共同参画

妻、夫がお互いに支えあうのが男女共同参画。女だから、男だからという理由で自分育てのチャンスを取りあげてはいけない。職場や行政が一人ひとりの自分育てを提供できる社会作りをめざしてほしい。



・中央大学法学部教授
・佐賀県立女性センター
生涯学習センター館長
広岡 守穂 さん

市長あいさつ



オープニング 忍にん体操



講演会



市内保育園児絵画



男女共同参画川柳



レザークラフト



音楽療法



映像ライブラリー



編集後記

今回、子育て中の男性100人へのアンケートで、まず簡単な集計フォームを作り、その結果をグラフにまとめる作業を担当したことで、私自身大変勉強になりました。

このようなアンケート調査では、(はい・いいえ)などの数値的なデータのみが重要視されることがほとんどです。ページ数の都合により、すべて載せることはできませんでしたが、皆様からの数多くの貴重なご意見を頂きました。今後の参考にさせていただき、男性の意見もおおいに取り入れて皆で考える男女共同参画をめざしたいと思います。

広岡先生の講演にもありましたが、私は「きらきら」を通じて「自分育て」をしているのだなぁと感じているこのごろです。「自分育て」……いい言葉ですね。
(山本 並美)

【きらきら編集委員】

岡 久美子 稲増 博美 竹山佐代子 藤田 量子 松永 啓子 三山佳代子 山本 並美

2007年3月発行

発行者：伊賀市人権政策部男女共同参画課（伊賀市上野丸之内116）

TEL 22-9632 FAX 22-9649（男女共同参画課宛）

E-mail : danjo @ city. iga. lg. jp